

公益社団法人日本技術士会 近畿本部 経営工学部会 6月度「部会+研修会」のご案内

日本技術士会 近畿本部 経営工学部会 部会長：間島 勝彦
同上 担当幹事：萩野 新
同上 担当幹事：田代 芳樹

平素は、近畿本部経営工学部会活動に参加・ご協力いただき有り難うございます。2019年度6月度の部会・研修会を下記要領にて開催致しますので、各位のご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

— 記 —

日時 2019年6月15日(土) 13:30～17:00
開催場所 日本技術士会 近畿本部 会議室 近畿富山会館ビル2階 TEL:06-6444-3722

1. 開会挨拶(13:30～13:35) 間島部会長
2. 研修会 (13:35～16:05、質疑応答含む) 司会 担当幹事

・演題：「在来型化石燃料と非在来型化石燃料」

副題：「ベストエネルギーミックスを構成する化石燃料とCO2排出削減技術」

・講師：新居 哲(にい さとし) 技術士 (経営工学部門)

新居技術士事務所 (日本技術士会近畿本部兵庫県支部 事務局長)

・概要：年々増え続ける世界のエネルギー消費量を賄うためには、化石燃料が欠かせない。2016年の化石燃料による一次エネルギー構成比の世界平均は85%(日本は90%)であった。2050年の世界の総発電量は2016年のほぼ倍増と算定されるが、化石燃料による火力発電が61%を占めており、その後も当分化石燃料の活用が続くと予想される。また、より深い地層に貯留している莫大な量の非在来型化石燃料が、採掘技術の著しい開発進歩により採取可能になってきたため、その活用が期待できる。一方、地球温暖化を防ぐため、化石燃料を電力に変換するとき生ずるCO2の排出低減・削減技術の開発、回収・貯留技術(CCS)及び有効利用技術(CCUS)が進展しているが、さらに回収したCO2を原料として石油代替燃料や化学原料などを生産する研究開発の実効化が切望される。

— 休憩(16:05～16:15) —

3. ショートレクチャー (16:15～16:30)
テーマ「多品種少量・受注生産の効率化について考える」 宮口技術士 (ナブテスコ株式会社)

4. 部会活動報告及び諸連絡事項 など (16:30～16:50)

5. 閉会挨拶(～17:00) 担当幹事

参加費：¥1,000円、当日会場にて徴収させていただきます。

申込期限：2019/6/7(金)までにまでに下記連絡先までお申込み下さい。

連絡先：荒井一彦 副部会長(kazuhiko_arai@k7.dion.ne.jp)

※部会後に、新たに入会された方の歓迎会を予定しておりますので、参加可否を併せてご連絡下さい。

以上